

# 授業科目 成人急性期看護学

【担当教員名】 金子 佳世 他		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 急性期にある人々の特徴を理解し、急性期看護にある人々への看護援助について理解する。 周手術期にある患者の特徴を理解し、回復過程に沿った看護援助について理解する。 クリティカルケアを必要とする人々を理解し、必要な看護援助について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>急性期看護の要点について説明できる。</li> <li>急性期にある患者の身体的特徴、心理・社会的特徴について説明できる。</li> <li>急性期にある対象者に必要な看護技術の要点を説明できる。</li> <li>周手術期にある患者の身体的特徴、心理・社会的特徴について説明できる。</li> <li>周手術期看護の要点を説明できる。</li> <li>クリティカルケアを必要とする人々の特徴、必要な看護援助について説明できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	急性期看護の概念			1	講義
2	急性期にある対象者の特徴			2	講義
3・4・5	急性期にある対象者に必要な看護技術（胸腔ドレーン、心電図、フィジカルアセスメント）			3	講義
6	急性期の呼吸障害のある患者の看護			3	講義
7	急性期の循環障害のある患者の看護			3	講義
8・9・10	周手術期看護（術前・術中・術後）			4・5	講義
11・12・13	クリティカルケア看護、高度に侵襲を受けた患者の看護			6	講義
14	心肺蘇生法			6	講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ナーシング・グラフィカ 成人看護学 2 健康危機状態 / セルフケアの再獲得	吉田澄恵、鈴木純恵、安酸史子	メディカ出版	2015・3,600円＋税
参考書		ナーシング・グラフィカ 成人看護学 4 周手術期看護	中島恵美子、山崎智子、竹内佐智恵	メディカ出版	2013・3,600円＋税
その他の資料					
【評価方法】 定期試験：90％程度、レポート：10％程度、			【履修上の留意点】		